

本誌では、アンケートにご回答いただく通信員（読者モニター）として、年度ごとにご登録いただいています。このコーナーでは、通信員の皆さまからお寄せいただいた**2024年10月号（159号）**の記事に対するご感想の他、ご希望の記事やご要望などをご紹介します。併せて、人気記事のランキングと次号予告も掲載いたします。通信員の皆さまから頂戴したご感想やご意見は、誌面づくりに生かさせていただきます。

ご希望の記事

フレックスタイム制による週休3日の働き方、カウンセリングの効能。(40代・女性)

退職金の運用方法について、皆さんはどうしているか気になります。そんな記事を希望します。(50代・男性)

男性育休について。子育て世代向けの記事も増やしてほしい。(30代・女性)

公務員のNISA、iDeCoの税金対策について。(30代・男性)

退職後、ボランティアをしたいと思っています。NPO法人のたちあげ方法やメリット、デメリット等を教えてほしいです。(50代・女性)

山や田畑などの相続関係について。相続した場合のメリットやデメリット。相続したくない場合の方法など教えてほしいです。(40代・男性)

いろんな角度（衣食住）からの節約方法を知りたいです。(30代・女性)

自治会やPTA以外での地域との関わり方について。ボランティア活動も良いですが、自分の得意分野を活かした専門的な活動をされている方の事例を知りたいです。(40代・男性)

自己資産の社会還元について。(60代・男性)

日本各地で、特色ある活動をしていらっしゃる皆様をもっと紹介していただけたらと思います。(70代・女性)

住民税の考え方について教えていただきたいです。ある時期副業をし、住民税が上がってきました。しかしながら、その翌年、副業収入がぐんと減りましたのに、住民税がそのまま（変わらず高い住民税で引かれます）。なぜでしょうか。(40代・女性)

今年50歳になり、あと15年で定年退職かと意識するようになりました。自分がいくらの年金がもらえるのかをこれからしっかりと勉強したいと思います。年金の仕組み・計算方法など基礎的なところやねんきん定期便の見方などを特集で教えてもらいたいと思います。また、退職時に後悔しないように、余裕のある老後に向けてこれから退職までにやっておくべきことなども取り上げてもらえるとうれしいです。(50代・男性)

定年を過ぎ、今回の確定申告が3回目を迎えます。就業していたときは、本当に何も考えていなかったんだなぁと痛感させられることが多く、貴誌の記事に感心しております。今回の「CAREER 学び続ける時代」も、その通りであり、早めの相続対応も必要だと思います。終活に向けての学ぶ（対応する）べき項目の一覧表をお願いします。(60代・男性)

市役所を定年退職し再任用で2年目です。民間を退職した同級生たちは独立開業をしたり、自分のお店を持ったりしています。事務屋一筋でやってきた私には、これといって秀でた知識もありません。今からでも取得できる資格を、難易度、学習期間の目安、費用などを含めて紹介していただければありがたいです。(60代・男性)

実家が古く、売れるような立地でもないため、相続放棄を考えています。相続放棄について注意点が知りたいです。また、相続人全てが放棄した家屋はその後どうなるのか、放置されたままとなるのか知りたいです。(50代・女性)

ご感想

信託報酬の低さを第一にインデックス投信を積み立ててきた私にとって、今号の「投信選択のポイント」はガツンと頭をたたかれました。こういう、「思わぬポイントを指摘してくれる記事」が掲載されているのが本誌の命です。今後もこういう公平な方の忌憚のない寄稿を期待しています。(70代・男性)

今号のおひとりさま特集は大変参考になりました。(40代・男性)

通信員による人気記事ランキング

2024年10月号：159号

- 1位：ECONOMY 今から備えるひとり老後——自分で自分を護るために 小山 朝子
- 2位：ECONOMY おひとりさまの住まいとその注意点 藤川 太
- 3位：TOPICS 問題化する前に始めておきたい相続した実家の空き家対策 杉谷 範子／譲矢 恵一郎
- 4位：CAREER 人生100年時代とは学び続ける時代 徳岡 晃一郎
- 4位：HEALTH 怒りをコントロールする「アンガーマネジメント」 安藤 俊介
- 4位：SOCIAL LIFE シニア期の幸福度を高める地域とのつながり 菅原 育子

次号予告

2025年4月号：162号

特集「教育」

- 2人に1人が借りている奨学金とその返済
- 子どもの教育にかかるお金とその準備
- 子どものネット事情とトラブル対策
- いま注目されるウェルビーイング
- 働く人のためのメンタルヘルス
- 私のボランティア活動
- 時間栄養学による効率的な食生活
- 実践！学び直し
- シニア災害ボランティアシンポジウム開催報告

その他、インタビューやコラム等も掲載予定です。

※予告内容は諸事情により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

老後の住まいについて持ち家が賃貸か考え始めたところなので、今号の「ECONOMY おひとりさまの住まい」についての記事は大変参考になりました。(50代・女性)

SOCIAL LIFEの記事を読んで、幸せを伝染させる人になることを決意しました。(50代・女性)

自分が千葉県民であるからか、CAREER 仁平さんの『6時の公共』に惹かれました。仕事を離れたところで公共を考える時間を仲間と共有することは、刺激的且つ心強い繋がりだなあ、と思いました。そういう仲間を持つと高い壁も越えられそうですね。ゆるゆるというのも無理のない心地良いやり方。40代半ばで、まだ残業から解放されませんが、感化され『9時の公共』と称し集い(呑み)たくなりました。(40代・女性)

今号は来年3月に退職する私にはとてもタイムリーな内容が多く参考になりました。特にマイホームを持たない私は退職と同時に職員宿舎を退去してアパートを借りる必要がありますが、年齢と定職の問題がここまで厳しいものとは思っていませんでしたので、これから対策を講じたいと思います。(50代・男性)

今月号も隅から隅まで拝読させていただきました。聞きなれない言葉から、今向き合うべき問題まで詳しくプロ目線で特集として書かれていて大変学びになりました。自分でも実践できていないことは耳が痛かったですが、しっかり取り組んでいきたいと改めて思いました。(40代・女性)

私は完全なおひとりさまですので、ECONOMY「今から備えるひとり老後」は身に染みしました。保証人の問題は重要ですが、ホームロイヤル契約のを知り、予め死後事務までを委ねられる方を探して対応していくのが大切と思いました。(60代・女性)

今号の特集「おひとりさまへのヒント」、最初は自分には関係ないかなと思い、読み始めましたが、3編とも興味深い内容で、今後の自分に有意義なものでした。特に菅原先生の、幸せへのキーワードは「つながり」、幸せは伝染するは心に沁みました。(60代・男性)

年齢や仕事で抱えている様々な問題について、ネット検索すると不安を煽り商品や有償サービスに繋げようとするものに多く当たってしまい不安が増大することが多いように感じています。ALPSの記事は客観的な事実や選択できるサービスをわかりやすく記事にしてあり、目からうろこの連続です。詳しく知りたい場合は書籍の紹介もあり、とても参考になります。これからも有用な記事を楽しみにしています。(50代・女性)

アンケートにご回答をいただき、誠にありがとうございました。